

商品 すべて 国内株式 米国株式 投資信託 債券
 SBIラップ

期間 約定日 受渡日
 から

種類 すべて 現物 信用

口座 すべて 特定 一般 NISA (成長) 旧NISA

反省

- ①・⑤・⑧・⑩・⑪・⑫→チャンス付近ではあるが、引き付けが足りていない。チャンスをせっかく待っているのに、機会損失を恐れてエントリーが早い。今日はそれが目立った。損切が目立つと思ったら前のめりになってるからこれで、-18290円の損失。特に村田は1万円以下に落ちてきて、チャンスだと思うと前のめりになってしまっていた。チャンスでもエントリーが悪いと損切になるから、引き付けられないと負けるから意味ない。引き付けろ。機会損失を恐れるのをやめないと安定して勝てない。
- ②中途半端に伸ばそうとして、同値撤退くらいになった。当初の損切ラインまで待てたら、値幅を取れた取引になって、最低限でも5千円くらい取れてた。決めた損切ラインまで待てないなら、値幅を取ろうとする意味ない。どうせだめだろうと思って諦めるくらいならスキヤにした方がいい。伸ばすつもりエントリーならダメだと思っても損切ラインまでは、引っ張らないと他で支払う損切コスト回収できない。
- ③上目線でエントリー。決めた損切は出来ているが、VWAPで押し返される・板の強弱から損切になるまで引っ張るのではなく利確はできないにしても同値撤退くらいで逃げることができていたはず。こういう察知能力を上げていかないといけないアームのバイアスがかかっていて、期待してしまっている。自分の感情ではなく事実を確認して最善の行動をとる
- ④決めた損切ラインまで待たずに損切×②と同様に利確も損切も決めた位置まで待つ。これもかなりもったいない後2.8円我慢すれば、損切ラインに達することなく値幅取れた
- ⑥いまの自分のやり方では、どうやってもこの上昇を取る前に損切になって、上昇していくのを悔しいと眺めることしかできなかった。（事後検証でも）たまにこういう現象が起きるから、チャートコレクションに保存して同様のパターンを蓄積し、検証して同パターンが来た時に期待値判断できるようにしていく。
- ⑧結果的には同様の値段で利確になっていたが、利確の仕方が×なぜなら上昇の途中でビビって利確したから。収支バリアもなくボラが激しすぎてビビってしまって早利確に...
- ベストな利確は、11:15の足でいったん上髭つけて終了、その次の足で11:15の高値抜けないことと、板の強弱見ていったんの天井と判断し利確というところだと思う。

ほぼ反省しかない...

また、今日からスイングのシュミレーションを行います。
 しばらくやって、期待値あると判断すれば週末・祝日を持ち越さない形でやってみようと思います。